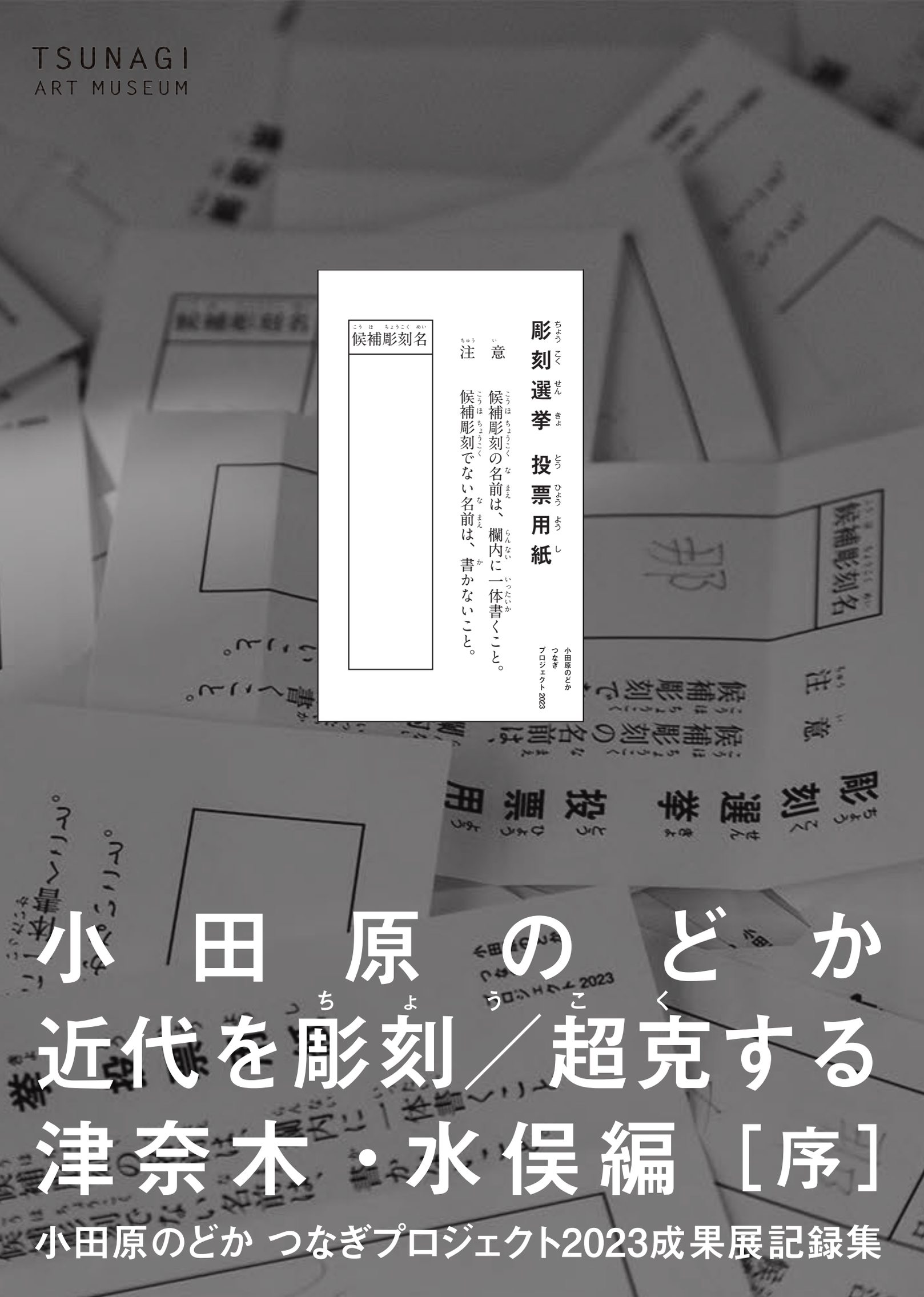
TSUNAGI
ART MUSEUM



小田原のどか
近代を彫刻／超克する
津奈木・水俣編［序］

小田原のどか つなぎプロジェクト2023成果展記録集

小田原のどか　つなぎプロジェクト2023成果展

小田原のどか　近代を彫刻／超克する―津奈木・水俣編[序]

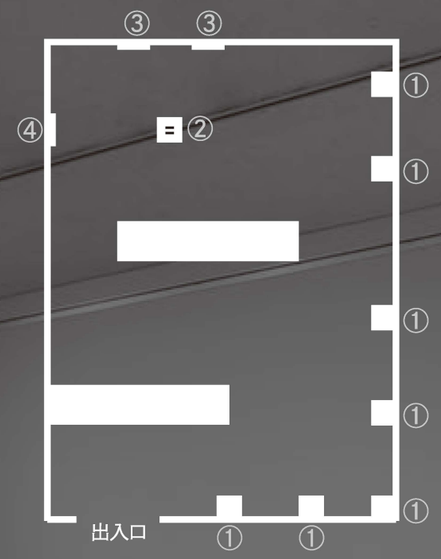
2023.9.9～2023.11.19　つなぎ美術館3階展示室

はじめに

津奈木町のアートによる町づくりは、水俣病からの地域再生と魅力ある文化的空間の創造を目指し、1984 年の「緑と彫刻のある町づくり」に始まりました。その活動拠点として 2001 年に開館したのがつなぎ美術館です。2008 年からは、地域資源の再評価と文化芸術活動を担う人材の育成を目的に、社会教育事業として 1 年から数年おきに変わるテーマごとにアーティストを招聘しながら、住民参画型アートプロジェクトを実施してきました。同プロジェクトの一環として、2023 年 4 月に 2 か年の計画で始まったのが「小田原のどかつなぎプロジェクト」です。小田原のどかは、2021 年につなぎ美術館が公共空間における裸体像をテーマに開催したシンポジウム「男と女とハダカとアート」に現代美術家・柳幸典や美術史研究者・木下直之とともに登壇しました。津奈木町では 2014 年を最後に野外彫刻を設置していませんが、裸体像に限らず恒久的な作品の設置プロセスや設置後の維持管理方法についてはさらに議論を深め、より良い文化的空間の創造に生かしてゆく必要があると考えています。

「小田原のどかつなぎプロジェクト」1 年目の成果展では、選挙の投票所を模したつなぎ美術館の展示室で町内外の人々に津奈木町にある 16 点の野外彫刻の中で気になる作品へ票を投じてもらうことによって、公共空間における彫刻やモニュメントのあり方について考える「彫刻選挙」を実施しました。小田原は自身のプランをもとに「彫刻選挙」の準備から開票に至るまで、住民を中心とした 7 人の実行委員とアイデアや地域に関する情報を交換しながらプロジェクトを進めました。2 年目は 1 年目の成果を踏まえたうえで、規模を拡大してプロジェクトを実施し成果展を開催する予定です。これまでにない小田原ならではの批評性とユーモアに富んだ住民参画によるプロジェクトに、町内外の関心と期待も高まっています。

つなぎ美術館学芸員　楠本智郎



「彫刻選挙」　投票の流れ

手順その1　1階受付で投票用紙を受け取る

手順その2　3階投票所の投票記載所（①）で投票したい候補彫刻の名前を書く

手順その3　投票所の投票箱（②）に投票用紙を入れる

■注意事項■
投票記入所の鉛筆は持ち帰らないでください

①投票記載所　②投票箱　③投票立会人
④選挙管理者

出品リスト

a　《投票記載台》2023年
木、紙、アクリル、鉛筆、レーザープリント

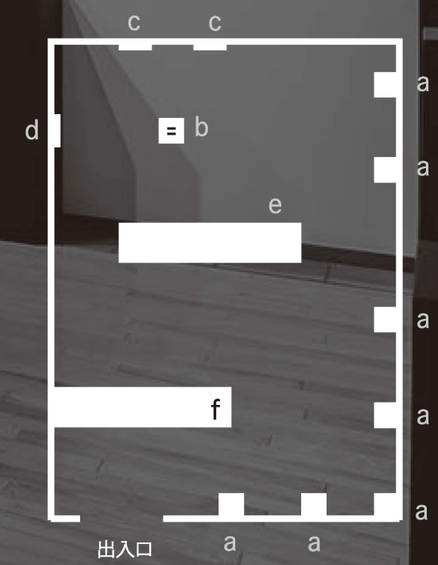
b　《投票箱》2023年
アクリル、蝶番、錠前

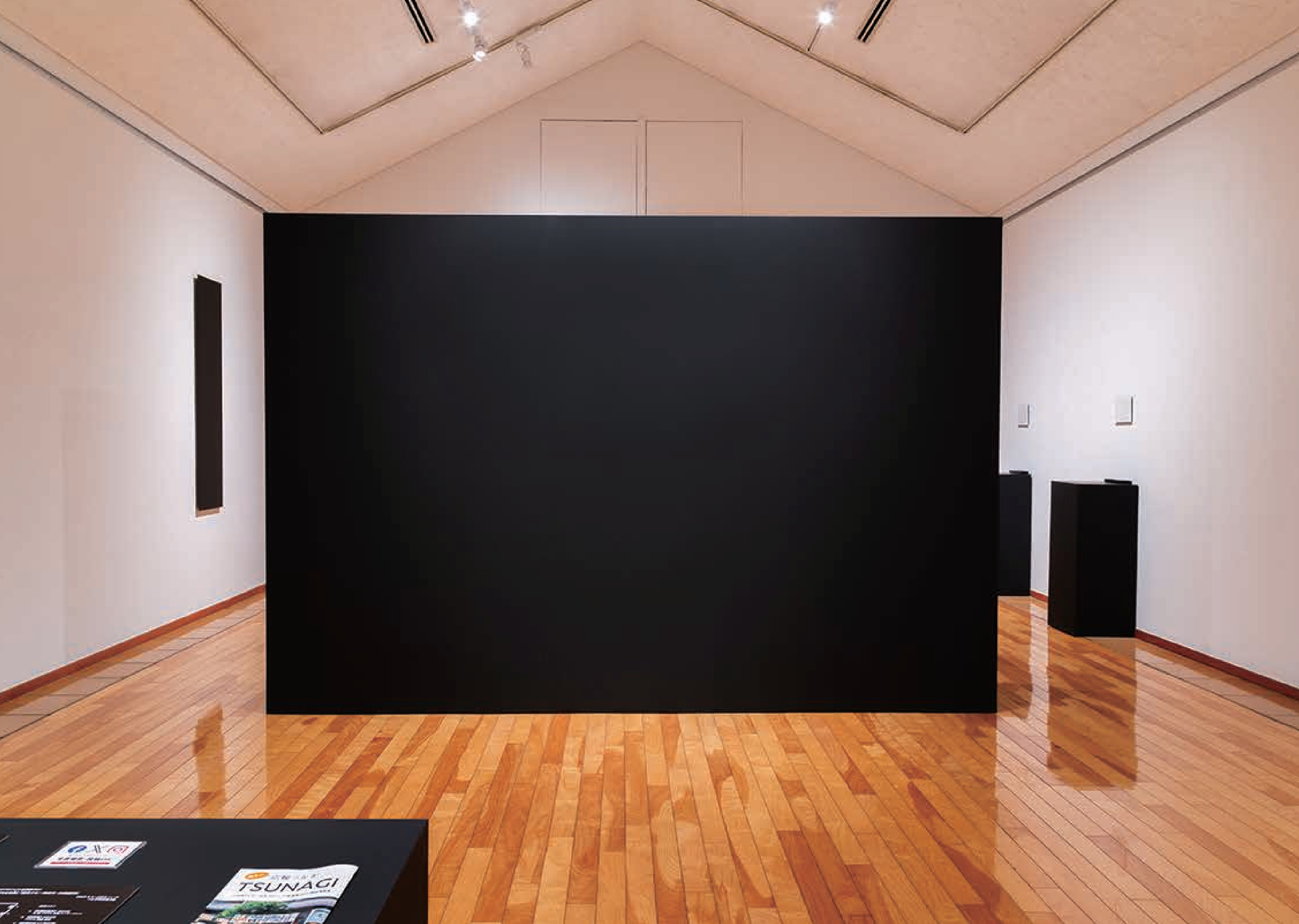
c　《投票立会人》2023年
アクリル

d　《選挙管理者》2023年
アクリル

e　《候補彫刻ポスター》2023年
ユポ紙にインクジェットプリント

f　《『広報つなぎ臨時増刊号』》2023年
紙にレーザープリント




TSUNAGI

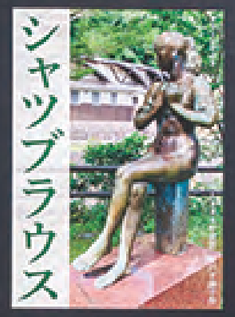
ひまわり
まつり
時のカプスール
ときの翔
シャツブラウス
風ん子
那有
爽風
はぐれっ子
千代
たわむれの塑像
若い女
立体・誕生
薫風
牧歌
トルソ

ひまわり

まつり

時の
カプスール

ときの翔


シャツブラウス

風ん子

那有

爽風

はぐれっ子

千代

たわむれの
塑像

若い女

立球体・誕生

薫風

牧歌

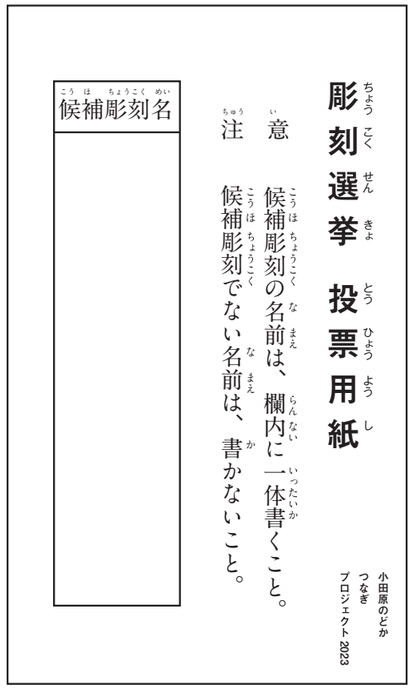
トルソ

令和五年度　小田原のどかつなぎプロジェクト2023

津奈木町「彫刻選挙」候補彫刻　つなぎ美術館

設置場所	候補彫刻	設置場所	候補彫刻
あけぼの橋	爽風	グリーンゲイト	シャツブラウス
津奈木大橋	薫風	グリーンゲイト	時のカプスール
茜橋	風ん子	役場庁舎前	はぐれっ子
役場庁舎玄関入口	若い女	つなぎ文化センター前	ときの翔
役場庁舎前	那有	つなぎ文化センター前	たわむれの塑像
つなぎ温泉「四季彩」	まつり	つなぎ美術館前	トルソ
舞鶴城公園展望所	牧歌	津南橋	ひまわり
津奈木駅前	千代	四季彩駐車場横	立球体・誕生

候補彫刻一覧



彫刻選挙　投票用紙

注　意

候補彫刻の名前は、欄内に一体書くこと。

候補彫刻でない名前は、書かないこと。

小田原のどか
つなぎ
プロジェクト2023

候補彫刻名

彫刻選挙 投票用紙

津奈木町「彫刻選挙」

特　記

一　「彫刻選挙」は、「小田原のどかつなぎプロジェクト成果展２０２３」の一環として開催されます。

二　「彫刻選挙」では、居住地、年齢、国籍を問わず、どなたでも、何度でも投票ができます。

三　「彫刻選挙」の投票所は、つなぎ美術館３階展示室です。

投票期間・時間

令和五年九月九日（土）～十一月十九日（日）

午前十時～午後四時三十分

※つなぎ美術館の休館日を除く。

※最終日は午後三時まで。

つなぎ美術館

彫刻選挙　候補彫刻ポスター一覧

彫刻選挙　開票　2023年11月19日

開票レポート：津奈木町「彫刻選挙」を終えて
小田原のどか

「小田原のどかつなぎプロジェクト 2023」の一環として、津奈木町の 16 体の屋外彫刻を活用し、9 月 9 日から 11 月 19 日まで開催された「彫刻選挙」が終了しました。

展覧会最終日、私はプロジェクト実行委員会のみなさんとともに開票を行いました。開票に際しては、つなぎ美術館の投票会場の結果とともに、町内 2 ヶ所の老健施設で実施した出張投票の結果も加わっています。

最終的に、有効票は 1199 票でした。各彫刻の得票については、以下をご覧ください。

《千代》2003 年設置、岩野亮介作、津奈木駅前　146 票
《風ん子》1988 年設置、岩野勇三作、茜橋　127 票
《時のカプスール》1992 年設置、松尾光伸作、つなぎ百貨堂前　111 票
《那有》1990 年設置、岩野勇三作、津奈木町役場庁舎前　92 票
《ひまわり》1997 年設置、佐藤忠良作、津南橋　91 票
《はぐれっ子》1990 年設置、岩野勇三作、津奈木町役場庁舎前　89 票
《牧歌》2000 年設置、岩野勇三作、舞鶴城公園展望所　87 票
《ときの翔》1991 年設置、松尾光伸作、つなぎ文化センター前　78 票
《爽風》1985 年設置、岩野勇三作、あけぼの橋　76 票
《トルソ》1993 年設置、佐藤忠良作、つなぎ美術館前　69 票
《立球体・誕生》2014 年設置、本田貴侶作、つなぎ温泉四季彩前　61 票
《薫風》1987 年設置、岩野勇三作、津奈木大橋　48 票
《たわむれの塑像》1997 年設置、下田治、つなぎ文化センター前　41 票
《シャツブラウス》1994 年設置、笹戸千津子作、つなぎ百貨堂前横　38 票
《まつり》1990 年設置、岩野勇三作、つなぎ温泉四季彩内　30 票
《若い女》1984 年設置、岩野勇三作、津奈木町役場庁舎玄関入口　15 票

ここでは、「開票レポート」として、この度の津奈木町「彫刻選挙」を振り返りたいと思います。まずお伝えしたいのは、「彫刻選挙」実施の意図についてです。「彫刻選挙」でわたしは、人気投票をしたかったわけでも、当落を決めたかったわけでもありません。そうではなくて、投票というものを通じて、今いちど屋外彫刻がある意味を考える機会をつくりたかったのです。

1970 年以降、日本各地で「彫刻のある町づくり事業」が実施されました。1984 年から始まり、「水俣病からの地域再生」という使命が課せられた津奈木町の彫刻設置事業は、とくに興味深い事例のひとつと言えます。

今回の彫刻選挙でいちばんの票を得た《千代》は、津奈木町に伝わる説話をもとにした彫刻です。「なぜこの場所にこの彫刻が置かれているのか」を考えるうえで、《千代》はもっとも津奈木町と関わりが深い彫刻です。また、「彫刻選挙」に伴うアンケートには、「(《千代》が）駅前に設置されており印象に残った」というものが見られました。津奈木町の方に千代の説話に親しみを覚えている人が多いこと、町外から鉄道で来場した方へのインパクトなどが、高い得票を得た理由だと考えられます。

さて、私には、津奈木町の「緑と彫刻のある街づくり事業」を代表する彫刻とも言える《薫風》《爽風》の苦戦が印象的でした。美術館に隣接する日帰り温泉施設「四季彩」の暖簾の絵図として、あるいは津奈木郵便局のスタンプとしても活用され、津奈木町のシンボルとなっている《薫風》《爽風》は、金箔で覆われ、夜間はライトアップされており、強烈な印象を与えます。

《薫風》《爽風》のように町内に多く設置されている裸体彫刻がはらむ問題については、津奈木町が配布する『広報つなぎ』をふまえて本展に関連して発行した『勝手に·広報つなぎ』に短いコラムを書きましたが、公共空間の裸体彫刻とはある意味で、戦後の日本を象徴しているとも言える存在です（参考：https://artscape.jp/focus/10144852_1635.html）。《薫風》《爽風》の彫刻選挙での苦戦は、裸体彫刻の苦難の時代を体現しているようにも思えました。

投票という行為においては、白票や無効票も重要です。このたびの彫刻選挙では、何らかのメッセージを込めた無効票はありませんでしたが、何も選ばないことを選ぶこともまた、公共彫刻を考えるうえで必要です。津奈木町だけではなく公共彫刻の設置に際しては、住民の意見が反映される機会が設けられることは非常にまれです。公共彫刻とは、いったい誰が選んだものなのでしょうか？　白票はそのことを気づかせてくれるように思います。

「投票というものを通じて、今いちど屋外彫刻がある意味を考える機会をつくりたかった」と冒頭に書きました。その目論見の記録として、ぜひ本記録集をご覧ください。そしてまた、今回の彫刻選挙・開票を受けて展開される「小田原のどかつなぎプロジェクト 2024」にもご期待いただければ幸いです。

町内3ヶ所に設置された彫刻選挙掲示板

上　老健施設での出張投票　　下　会場での投票の様子

つなぎ美術館
「小田原のどか　近代を彫刻（ちょうこく）／超克する―津奈木・水俣編[序]
（小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023）」
会期：2023年9月9日（土）～11月19日（日）

TSUNAGI ART MUSEUM

10/21(土)

来場者アンケート

Q1.「彫刻選挙」に投票した彫刻の決め手を教えてください。

写真からですが、なんだか他の彫刻とくらべ異質で気になった。なんだか可愛いかわいそうな感じもしたので

Q2. 差し支えなければ、投票した彫刻名をお書きください。

石いす

Q3.「小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023」の感想を自由にお書きください。

あらためて「選挙」の様子で街中にある彫刻を見ればして解説をうけとり、あたりまえかのように受けいれ、スルーしてきた彫刻の異様さに気づいた
投票箱のレプリカも面白かった

Q4. 来年度の「小田原のどか つなぎプロジェクト」に期待するものがあれば、自由にお書きください。

どんなものを見せてもらえるのか、気づかせてもらえるのか、とても期待しています

Q5. どちらからお越しですか？ 該当するものに○をつけてください。

1 津奈木町　(2) 津奈木町外

※アンケートへのご協力をありがとうございました。3階展示室の外側の休憩スペースでアンケートは回収しています。本アンケートの回答は、本展記録冊子や美術館ウェブサイトで紹介する可能性がありますので、ご了承ください。

つなぎ美術館
「小田原のどか　近代を彫刻（ちょうこく）／超克する―津奈木・水俣編[序]
（小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023）」
会期：2023年9月9日（土）～11月19日（日）

TSUNAGI ART MUSEUM

10/8(日)

来場者アンケート

Q1.「彫刻選挙」に投票した彫刻の決め手を教えてください。

ひまわりの花が好きだから

Q2. 差し支えなければ、投票した彫刻名をお書きください。

ひまわり

Q3.「小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023」の感想を自由にお書きください。

町が盛り上がってほしい

Q4. 来年度の「小田原のどか つなぎプロジェクト」に期待するものがあれば、自由にお書きください。

がんばって下さい

Q5. どちらからお越しですか？ 該当するものに○をつけてください。

1 津奈木町　(2) 津奈木町外

※アンケートへのご協力をありがとうございました。3階展示室の外側の休憩スペースでアンケートは回収しています。本アンケートの回答は、本展記録冊子や美術館ウェブサイトで紹介する可能性がありますので、ご了承ください。

つなぎ美術館
「小田原のどか　近代を彫刻（ちょうこく）／超克する―津奈木・水俣編[序]
（小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023）」
会期：2023年9月9日（土）～11月19日（日）

TSUNAGI ART MUSEUM

10/7(土)

来場者アンケート

Q1.「彫刻選挙」に投票した彫刻の決め手を教えてください。

その場所の風景や、見た時の感情に合っていたから

Q2. 差し支えなければ、投票した彫刻名をお書きください。

牧歌

Q3.「小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023」の感想を自由にお書きください。

確かに、彫刻は こわすところまで作品とは見たことがない!!

Q4. 来年度の「小田原のどか つなぎプロジェクト」に期待するものがあれば、自由にお書きください。

おもしろい 挑戦だと思ったので結果をたのしみにしています

Q5. どちらからお越しですか？ 該当するものに○をつけてください。

1 津奈木町　(2) 津奈木町外

※アンケートへのご協力をありがとうございました。3階展示室の外側の休憩スペースでアンケートは回収しています。本アンケートの回答は、本展記録冊子や美術館ウェブサイトで紹介する可能性がありますので、ご了承ください。

つなぎ美術館
「小田原のどか　近代を彫刻（ちょうこく）／超克する―津奈木・水俣編[序]
（小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023）」
会期：2023年9月9日（土）～11月19日（日）

TSUNAGI ART MUSEUM

10/8(日)

来場者アンケート

Q1.「彫刻選挙」に投票した彫刻の決め手を教えてください。

中学校の校門前で、中学校生活を、3年間見守ってもらっていたから

Q2. 差し支えなければ、投票した彫刻名をお書きください。

ひまわり

Q3.「小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023」の感想を自由にお書きください。

Q4. 来年度の「小田原のどか つなぎプロジェクト」に期待するものがあれば、自由にお書きください。

Q5. どちらからお越しですか？ 該当するものに○をつけてください。

1 津奈木町　2 津奈木町外

※アンケートへのご協力をありがとうございました。3階展示室の外側の休憩スペースでアンケートは回収しています。本アンケートの回答は、本展記録冊子や美術館ウェブサイトで紹介する可能性がありますので、ご了承ください。

つなぎ美術館
「小田原のどか　近代を彫刻（ちょうこく）／超克する―津奈木・水俣編[序]
（小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023）」
会期：2023年9月9日（土）～11月19日（日）

TSUNAGI ART MUSEUM

9/17

来場者アンケート

Q1.「彫刻選挙」に投票した彫刻の決め手を教えてください。

町民として興味があったから

Q2. 差し支えなければ、投票した彫刻名をお書きください。

風ん子

Q3.「小田原のどか つなぎプロジェクト成果展2023」の感想を自由にお書きください。

良い取り組みと思いました。
（これまで聞いたことがないので。）
作品の選挙は

Q4. 来年度の「小田原のどか つなぎプロジェクト」に期待するものがあれば、自由にお書きください。

町民の方をまきこんだプロジェクトにしてほしいです。
非町民外の
また、町外の方に関心を持ってもらえるよう、お願いします

Q5. どちらからお越しですか？ 該当するものに○をつけてください。

(1) 津奈木町　2 津奈木町外

アンケートへのご協力をありがとうございました。
3階展示室の外側の休憩スペースにてアンケートは回収しています。

来場者アンケート

2023年4月28日・6月2日・7月24日・11月19日　実行委員会会議

2023年9月9日　オープニングパーティ（食事提供：SEN&CO）

2023年10月7・8日
出張書店
カライモブックス

2023年10月7日
出張カフェ
SEN&CO

2023年10月8日
出張カフェ
あん・さんく

おわりに

つなぎ美術館から「2 カ年の住民参画型アートプロジェクト」という依頼を受け、津奈木町の町民や町に関わる方で組織される実行委員会のみなさんと話し合いを重ねながら、私は「住民参画」ということの意味を考えました。

その結果、初年度の成果展として、居住地、国籍、年齢にかかわらず、誰でも投票ができる選挙を実施することにしました。選挙といっても、議員を選出するような公職選挙ではなく、1984 年に始まった「緑と彫刻のある町づくり」事業により、津奈木町に永久設置された 16 点の彫刻を活用した「彫刻選挙」です。

ところで、選挙とは一般的に、適任者を選ぶためのものですが、「彫刻選挙」は適任者や代表者を選ぶものに限定してはいません。16 の彫刻からひとつを選ぶ際、判断の基準は人それぞれに異なり、なかには白票を投じる方もいることでしょう。それでも何かを選び、何かを選ばないという判断が、彫刻をめぐって行われることが重要です。

日本においては、永久設置される彫刻について、住民が最終決定権を持つことはほとんどありません。モニュメントやメモリアルなどに関しても、コンペが行われることは極めて稀です。当たり前のようにある公共彫刻は、いったい誰がどのように選んだのでしょうか。私は今回の「彫刻選挙」を、民主主義と彫刻の関係について考え直す機会にしたいと考えました。

さて、この成果展会場の展示物には、投票所の機能を持たせています。これらは、内部構造がわからないことの比喩としてよく用いられる「ブラックボックス」の視覚化でもあります。展覧会最終日の 11 月 19 日には開票が行われ、「ブラックボックス」が開かれました。

選挙の結果はつなぎ美術館のウェブサイトで公開するとともに、本記録集で報告を行いました。また、この度の「彫刻選挙」をふまえて、来年度の「小田原のどかつなぎプロジェクト 2024 成果展」が開催されます。

プロジェクトの次なる展開にも、ぜひ引き続き、ご関心を持っていただければ幸いです。

小田原のどか

［プロジェクト・展覧会］
小田原のどかつなぎプロジェクト 2023 成果展
「小田原のどか　近代を彫刻／超克する－津奈木・水俣編」
会　　期　2023 年 9 月 9 日－11 月 19 日
会　　場　つなぎ美術館 3 階展示室
主　　催　つなぎ美術館［津奈木町］
協　　力　特別養護老人ホームあけぼの苑　特別養護老人ホームつなぎの里　山田大揮
助　　成　公益財団法人水俣・芦北地域振興財団
実行委員　新立みゆき　長友美波　中村 圭　林郁郎　濱口りさ　松田 修　松本美由紀

［記録集］
執　　筆　小田原のどか　楠本智郎
装　　幀　小田原のどか
写　　真　小田原のどか（P26 下段 4 枚、P29 下段 6 枚）　金川晋吾　曾地啓介（P29 上段 2 枚）
発　　行　つなぎ美術館
発 行 日　2024 年 1 月 31 日

つなぎ美術館
www.tsunagi-art.jp
〒869-5603　熊本県葦北郡津奈木町岩城 494　TEL 0966-61-2222　FAX 0966-61-2223

小田原のどか つなぎプロジェクト2023成果展

近代を彫刻（ちょうこく）／超克する―津奈木・水俣編［序］

小田原のどか（おだわら・のどか）
彫刻家・彫刻研究・評論家

一九八五年、宮城県生。多摩美術大学美術学部彫刻学科卒業。東京芸術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修了後、筑波大学大学院人間総合科学研究科にて芸術学博士号を取得。歴史を掘り起こし、社会現象に照らして、いま注目すべき問題を作品や評論を通じて世に提起している。多摩美術大学などで非常勤講師を務める。東京都在住。評論家としても活動し、『芸術新潮』『東京新聞』に美術評を連載。主な個展に「近代を彫刻／超克する―雪国青森編」（国際芸術センター青森［ACAC］、二〇二〇～二〇二一年）、主な単著に『近代を彫刻／超克する』（講談社、二〇二一年）。

会期｜2023年9月9日～11月19日
会場｜つなぎ美術館3階展示室
主催｜つなぎ美術館［津奈木町］
協力｜特別養護老人ホームあけぼの苑
　　特別養護老人ホームつなぎの里
助成｜公益財団法人水俣・芦北地域振興財団

この事業は、水俣・芦北地域振興計画に基づく地域振興事業として、
水俣・芦北地域振興財団の助成により実施しました。

関連プログラム

アーティストトーク
日　時　9月9日㊏14:00―14:30
ゲスト　小田原のどか
会　場　3階展示室

対　談「彫刻と社会：津奈木町から考える」
日　時　9月10日㊐14:00―15:30
ゲスト　山本浩貴（文化研究者）　小田原のどか
司　会　楠本智郎（つなぎ美術館学芸員）
会　場　グリーンゲイト2階（つなぎ美術館横）

出張書店カライモブックス
日　時　10月7日㊏・8日㊐
ゲスト　カライモブックス　小田原のどか
会　場　1階多目的ホール

茶話会「〝アート／政治〟の二項を超克する」
日　時　10月30日㊊14:00―15:30
ゲスト　小松原織香（哲学研究者）　小田原のどか
会　場　2階喫茶室

開　票
日　時　11月19日㊐15:00―16:00
ゲスト　小田原のどか
会　場　1階多目的ホール